

平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース  
教育実践学専修

沖縄県内地域指定推薦  
沖縄県内高校推薦

共通問題

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

**非公開**

出典：中川翔子「逃げて まず自分が大事」朝日新聞社編『完全版 いじめられている君へ いじめている君へ いじめを見ている君へ』朝日新聞出版，2012年，pp.26-27。

※筆者紹介：1985年，東京生まれ。タレント。「しょこたん」の愛称で，歌手，声優，グラビアアイドル，漫画家などマルチに活躍。ブログの女王としても知られる。

問 この文章の筆者は下線部で、いじめから逃げることは本当の「逃げ」とは違うと言っています。いじめから逃げることは、本当の「逃げ」と何が違うのでしょうか。そして、いじめから逃げるということは何を意味しているのでしょうか。あなたの考えを800字～1000字以内で述べなさい。

# 平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

教育実践学専修

沖縄県内地域指定推薦

共通問題

沖縄県内高校推薦

### 出題の意図

いじめは今日の教育問題として非常に重要なテーマである。だが、ここでは「いじめはいけない」というありきたりの作文や、いじめについて受験生があらかじめ準備してきた意見を述べるのではなく、「いじめから逃げる」ということの意味を問題文の文脈から理解し、さらにそれを自分の中で拡大して意見を述べることを求めている。いじめから逃げるということ、生命のための危機回避、学校外に自分の居場所を見つける、広い世界の中で自分のやりたいことを探す、自分の趣味や仕事に生きがいを見出す、といった観点から捉えていけばよい。また、子ども時代には学校が世界のすべてだと感じられてそこから逃げ出すことが不可能だと感じるのだという現実感を十分に踏まえて、「いじめから逃げる」ことの困難性について論及した意見も評価したい。

この問題は、教育学部学校教育教員養成課程のアドミッション・ポリシー「教員として子ども及び社会と関わっていききたい人」及び「教育の理念と実践を広く学ぶ意欲のある人」に関わっている。